

町長への手紙・回答内容

(R6. 11受付分)

NO	投稿者 年代・性別	(要望・意見内容)	回 答
1	90代 男性	<p>年寄りも気軽に参加できる催しを考えてほしい。 例えば、映写会。昔は楽しかった。テレビとは違う感動がある。 出店もあるとよい。送迎バスもお願いします。</p>	<p>町では高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を続けることができるよう、様々な取り組みや支援をおこなっております。</p> <p>たとえば、介護予防を推進する取り組みとして、送迎付きの介護予防教室「さらに元気アップ教室」や地域の公民館を会場にした「いきいきサロン」、また、各地区が主催する特色ある講座、さらには、地域の高齢者が主体となって交流する場を開催している「いきいき百歳体操」などがあります。</p> <p>町で開催している映写会はありませんが、各地区交流センターやフレンドリープラザでの催しなど、映画や芸術文化そして交流を楽しむことができる場所もあります。</p> <p>このような情報の発信をはじめ、高齢者の皆さんが気軽に参加できるような様々な催しについて検討するとともに、町報などを通して広くお伝えしてまいりたいと思います。</p>
2	60代 女性	<p>雪の苦勞が少ない町づくりを考えていただきたいです。 老々介護と雪で、腰を痛めてしまいました。せっかく同居してくれた息子も「雪がなければ…」と将来に希望が見いだせない様子</p>	<p>かつてより降雪量が減ってきたとはいえ、高齢者世帯での除雪は大変なご苦勞があるかと存じます。</p> <p>温泉熱の活用は雪対策を含め研究すべきアイディア</p>

		<p>です。 温泉の湯は活用できないものでしょうか？</p>	<p>です。一方、本町の川西温泉は公共事業として掘削した温泉であり、広く町内の融雪に活用できれば素晴らしいのですが、揚湯量や排湯量から考えてみても到底足りないのが現状です。また、公平性の観点から、限られた個人宅の融雪に活用することは困難であり、事情をご拝察くださいますようお願いいたします。</p>
3	70代 男性	<p>1. 庁舎外壁の2本の垂れ幕の活用について 例えば、米沢市はいつも2本の垂れ幕をかけているが、本町は2本かけられるようになってはいるが、いつも垂れ幕がない時が多い。あっても交通安全、火災予防、また最近では高橋健太郎選手の垂れ幕であったが、米沢市のように常時かけてほしい。例えば、 (1) オーガニック宣言の町 (2) 置賜で1番住みやすい町をつくろう！</p> <p>2. ホッケー競技について 令和3～5年と久しぶりにホッケー競技を見てきた。令和3、4年は東北大会が本町で開かれたが、寂しいことに垂れ幕もなかったし、町民への周知がホッケーの町と言っている割にはなかったと思う。 また、開会式での歓迎の意をこめて、町の代表（町長、副町長）の挨拶もなかったように見えた。是非、歓迎のあいさつをしてほしい。町長がBESTだ。</p>	<p>1. 懸垂幕の掲示については、特に定められたルールはありませんが、庁舎内へのポスター等の掲示と同様に、掲示期間を定めるなどして行っております。 掲示する内容については、広く町民の方にお伝えしたい内容を掲示することから、行政情報として確定している内容であることが必要です。 広く町民にお伝えしたい内容が生じた場合は、今後も速やかに対応いたします。</p> <p>2. ホッケー競技の東北大会が本町で開催されたことは、私たちにとっても大きな喜びであり、町を代表してのあいさつは、歓迎の意を示す重要な機会であると認識しております。 しかし、近年は新型コロナウイルス感染症の影響で、多くのイベントで開会式等のあいさつを省略する措置を取っておりました。これは、参加者の健康と安全を第一に考え、感染リスクを最小限に抑えるための対策であります。コロナ禍が終息した現在は、通常どおり歓迎と激励のあいさつを行っております。今後は、ホ</p>

		<p>3. 町の施策に反映のお願い</p> <p>農村を衰退させないため、農水省は来年3月まで10年後の農地の在り方を見すえた「地域計画」を策定することになっています。</p> <p>そのため、各地区ごとにワークショップを開き話し合いをしてきました。もうすぐ町の方に上申されると思いますが、是非ワークショップ等が出た意見を施策に反映させていただきたく様願います。</p> <p>4. 異常気象による施策について</p> <p>近年の高温、水害などが、農業生産にも大きな影響を及ぼしている。町でも具体的な施策を出してもらいたい。</p>	<p>ツケの町として町民への周知等含め町全体で盛り上がるような大会開催に努めてまいります。</p> <p>この度はご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>3. 今年度、地域計画策定に向けたワークショップを各地区で開催し、農業の担い手だけでなく非農家の方も交え、今後の地域農業の在り方や守るべき農地について話し合いを行いました。</p> <p>ワークショップという自由な話し合いの中で、課題解決のヒントとなるキーワードも出されておりますので、地域計画策定後の計画実行に際し、どう活かせるか検討を重ねてまいります。</p> <p>また、農業委員会では、農業委員会の事務として農地等の利用の最適化を進めるための「関係行政機関への意見の提出」があり、今後意見書を提出されるようですので、その提出された意見書の内容も含め検討してまいります。</p> <p>4. 自然災害（水害）へのリスク対策として、セーフティネット加入を含む経営体のリスク対策の普及を図ります。また、温暖化（高温）に対応した栽培技術の徹底や、凍霜害・高温被害への対策技術の普及や環境負荷低減の取組みとなる有機農業の普及と国際水準GAPの普及に努めてまいります。</p>
--	--	---	---

4	60代 男性	<p>昨年、10月9日に「川西町デマンド型乗合交通会員登録票」を町に提出しましたが、「川西町に住民登録が無い」という理由で拒否されました。</p> <p>私は現在、住宅ローン等の諸般の事情により〇〇に住民登録をしていますが、川西町と、〇〇に自宅を所有しており、ひと月のほぼ半分強の割合で川西町に、半分弱の割合で〇〇に居住しております。</p> <p>高齢者となり、自動車の運転をやめてしまい、最近は日々の買い物などにも困る毎日です。</p> <p>自宅から、羽前小松駅まで約12kmあり、(タクシー代が?) 通常期では片道約4,500円、さらに冬期では20%増しになり、年金暮らし等の高齢者には負担が大きすぎるのが現状です。</p> <p>近隣の高島町等では、町内在住の有無、(当然のことながら住民登録の有無)、に関わらずデマンド交通を利用することができます(添付資料参照)。</p> <p>国のデジタル田園都市構想では、地方移住の促進とともに、「地域関係人口の抄出」を掲げていると聞きますし、川西町でも推進しているということも聞こえてきます。</p> <p>そのためにも、町外の人もデマンド交通を利用できるようにすることは、是非とも必要な事ではないでしょうか?</p> <p>私の〇〇の自宅周辺では、自家用車を利用していない世帯が圧倒的に多く、都会の人々が公共交通機関で来町することも多々あると思います。</p> <p>町の活性化の点から考えても、デマンド交通の利用者を、町に住民登録がある方に限るのは、得策でないと思われれます。</p> <p>なにとぞ、町外の方もデマンド交通を利用できるようにご配慮い</p>	<p>「町デマンド型乗合交通」の住民登録以外の方の利用については、タクシー事業者様等の関係機関と協議するなど、デマンド交通の全体最適化の中で検討してまいります。</p> <p>また、本町も関係人口の拡大を掲げ、各種取り組みを進めており、ご指摘の「二拠点居住」の課題については、デマンド型乗合交通だけにとどまらないものであると認識しておりますので、国や県の動向などを含めまして、引き続き調査研究を進めてまいります。</p>
---	--------	---	--

		ただけるよう、お願い申し上げます。	
5	10代 男性	<p>1. 川西生まれ、川西育ちの者です。</p> <p>僕が住んでいる川西町のこどもは、のびのびとたくましく、地域を学び、あいさつができるこどもです。僕が伝えたいことは、子育て支援にもっと力を入れてほしいです。学びやすい環境、学校給食無償化などしてほしいです。産みやすい、育てやすい町にしたいです。もっとこどもが笑顔になる支援をしてほしいです。</p> <p>2. 僕が住んでいる苳は住民たちと仲が良く、助け合える仲間のような存在です。だが、ここ最近、雪がひどく道が通れなかったりしています。僕の家前の道路は福間がギリ2台の幅と全長300mほどの道があります。こどもたちの通学路か住民の重要な道です。僕が伝えたいことは、防雪柵を立ててほしいです。僕の父が昨年、防雪柵のような物を立てました。多額な金額でした。大切なこどもを守るために防雪柵を立てるべきじゃないでしょうか。こどもの事を</p>	<p>1. 町では、子どもたちを地域の宝として子育てしやすい環境を進めてきました。</p> <p>学びやすい環境につきましては、これまでGIGAタブレット端末の整備や電子黒板などを整備し、学習環境の整備を進めてきたところであり、今後も児童生徒が充実した学校生活を送れるよう努めてまいります。</p> <p>また、学校給食の無償化につきまして、本町では一般の食材の値上がりに対して一部補助を実施しています。給食の無償化を実施するにあたっては、恒久的な予算の確保が必要となりますので、今後の国の子育て支援施策などの動向を注視しながら、検討を進めてまいります。</p> <p>産みやすく、育てやすい町になるよう子育て環境や支援の満足度を高めてまいります。</p> <p>2. 防雪柵の設置につきましては、多額の費用を要することから、設置路線の選定にあたっては交通量等を勘案し慎重に優先順位を定め、財源確保に努めながら整備を進めております。</p> <p>このような状況を鑑み、ご要望の町道下苳中学校線への防雪柵設置につきましては、非常に困難であるものと捉えております。</p>

		<p>一番に考えている大人に提案を読んでほしいです。 ありがとうございました。</p>	
6	60代 男性	<p>1. 「消火栓の色塗りに関して」 部落の中の消火栓が色あせて貧乏くさく見え、自分が自治会長（2度目の）をしていた時に消防署に連絡し、要請しました。（最初、消防団だと思い確認したところ、消防署の仕事だと）順番でやりますと当時はその説明でしたが、やっと4年後の今年色ぬりをしました。 自治会にやったとの報告もしないで完了してます。そんなに時間かかる仕事を署でしてる場合でない。消防団にまかせるべき。</p> <p>2. 「部落の中の土地について」 町の土地はほぼ誰も管理しないのが現実です。自分はそれが許せなくボランティアで草刈り年6回～7回、冬の除雪3回～4回行っております。それを何年も。当時は部落で使ってもいい、そのかわり管理してくださいという取り決めだったと思います。 それって時代が変わり、はたして気になる自分一人がやるべきなのか？自分が死んだらどうするんだろう？少しの寸志が町からあっても良いのでは？と考えるようになり回答願います。 一人でだと草刈り半日かかる。どうせ着いても何の連絡もないんだろうけど！</p>	<p>1. 消火設備においては、置賜広域行政事務組合消防本部にその維持管理を委託しており、川西消防署が消防団と連携を図りながら実施しております。当該消火栓においては、今年度地元からの要望を受けて、川西消防署において朱色塗装を実施しました。今後も消防署と消防団の連携を図りながら維持管理に努めてまいります。</p> <p>2. ご指摘の土地に関しては、平成20年5月25日に〇〇自治会長と使用貸借契約を締結し、維持管理を自治会にお願いしながら用地等は無償で貸与しております。管理については、自治会で調整いただきますようお願いいたします。</p>
7	60代 女性	<p>小1の孫を持つ祖母です。 学校へ行くのに、朝、県道まで歩いていきます。県道の子供たちは近くから乗車できますが、私達のように裏道になると孫は可哀そ</p>	<p>現在のスクールバスの路線や乗降所につきましては、児童生徒の乗車時間や集まりやすい場所などを踏まえ設定しております。</p>

	<p>うですし、親も忙しい朝に大変かと思えます。子供達の事を思い通学バスは家の近くから乗車させてほしいと願います。</p> <p>近年は熊が出たり大変な事も起きています。少人数の子供達です。考えてほしいと思っています。</p>	<p>路線の変更や乗降所を増やすことは、最初に乗る児童生徒の集合時間が早くなってしまうことや、他の乗降所との均衡などから容易ではありませんので、ご理解くださるようお願いいたします。</p>
--	---	--